

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 27 年 9 月活動報告
PC ネットよろず相談 現地参加者アンケート結果

9月26日(土) 13:30 ~ 16:00	9月27日(日) 9:00 ~ 12:00
8名(回答数 8)	8名(回答数 7)
延べ 15名(回答数 15)	

1. あなたの性別を教えてください。

男性	9名
女性	6名

2. あなたの年代を教えてください。

20歳未満	0名
20~35歳	0名
35~49歳	2名
50~64歳	3名
65歳以上	10名

3. 末崎活動(パソコン、竹とんぼ、キッズディー、ごいし民俗誌、映画会等)への参加回数を教えてください。

初めて	1名
2~4回	1名
5回以上	5名
10回以上	8名

4. お住まいはどちらですか？

末崎町内	14名
それ以外	1名
未回答	0名

5. 今回の参加プログラム(「パソコン・ネットよろず相談」)を教えてください？

26日(土)午後	8名
27日(日)午前	7名
未回答	0名

6. 参加したプログラムはいかがでしたか？

とてもよかった	14名
よかった	1名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	0名

7. また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	14名
参加したい	1名
どちらとも言えない	0名
参加したくない	0名
まったく参加したくない	0名

8. 今回のプログラムを何で知りましたか？

KK2のWebサイト	1名
メルマガ・DM	0名
看板・チラシ	1名
友人・知人経由	2名
デジタル公民館まっさきのWebサイト	6名
前回参加した	5名
フェイスブック	3名
館報まっさき	4名
その他	0名

9. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

- ・ 毎回楽しみにしています。
- ・ 満足です。
- ・ 何度も無料でパソコン指導いただき、本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・ わからないことが解決しました。ありがとうございました。うれしかったです。

10. ご自宅でパソコンは持っていますか？

持っている	11名
持っていない	1名
未回答	0名

11. ご自宅にインターネット回線はありますか？

ある	11名
ない	1名
準備中	0名
未回答	0名

12. 普段パソコンでしている事、今後覚えたい事を、「内容」ごとに教えてください。(複数回答)

	している事	覚えたい事
インターネットの閲覧	7名	1名
メール	7名	1名
フェイスブック	7名	1名
ブログ	0名	0名
ホームページ作成	0名	3名
文章作成	6名	1名
写真保存	5名	0名
計算ソフト	5名	1名
未回答		3名

13. 今後、私はこんな事がしたい、または地域にしてあげたいと思っていますか?(複数回答)

パソコンの使い方を知らない人に教えられるようにする	7名
パソコンが使えない人が調べてほしいことを代わりにインターネットで検索をする	7名
パソコンが使えない人に代わってネット通販で生活必需品を(一緒に)購入する	4名
ブログや Facebook で仲間たちや知り合いと情報交換する	5名
インターネット電話 S k y p e (スカイプ) で遠く離れている人と電話やテレビ電話をする	1名
わかめなどの地域の名産品や観光・文化等を全国に P R する	3名
町を離れた人に復興やまちづくりの情報を発信する	4名
高齢者、現役世代、子どもたち等に話を聞いて紹介する	0名
未回答	3名
その他	0名

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 27 年 9 月活動報告
まっさきに学ぶ！まちおもいトーク 現地参加者アンケート結果

9月26日(土) 18:30 ~ 20:30
16名 (回答 12名)

1. あなたの性別を教えてください。

男性	8名
女性	4名

2. あなたの年代を教えてください。

20歳未満	0名
20~35歳	0名
35~49歳	3名
50~64歳	1名
65歳以上	8名

3. 末崎活動(PC、竹とんぼ、寄席、音楽会、映画会等)への参加回数を教えてください。

初めて	0名
2~4回	3名
5回以上	2名
10回以上	7名
未回答	0名

4. お住まいはどちらですか？

末崎町内	11名
それ以外(茨城県)	1名
未回答	0名

5. 参加したプログラムはいかがでしたか？

とてもよかった	8名
よかった	1名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	3名

6. また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	7名
参加したい	4名
どちらとも言えない	0名
参加したくない	0名
まったく参加したくない	0名
未回答	1名

7. 今回のプログラムを何で知りましたか？

KK2のWebサイト	2名
メルマガ・DM	1名
看板・チラシ	1名
友人・知人経由	0名
デジタル公民館まっさきのWebサイト	6名
前回参加した	4名
フェイスブック	4名
館報まっさき	4名
その他(協議会委員)	1名
(郵便での案内)	1名
未回答	0名

8. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

- ・ さすが経営者の視点と実行力だと思った。
- ・ 経営者の生き方や経営理念をうかがい、勉強になった。
- ・ たいへん説得力のある話で、よく理解できた。行動（実体？）を伴う話であり、大船渡温泉の「すがた」を改めて見た感じがした。無欲で行動している人だ。
- ・ 志田さんが温泉を始めたきっかけ等を聴くことができ、よかった。大船渡温泉に行ったら、絵を見たい。
- ・ 元気をもらいました。ありがとうございました。
- ・ 次回以降の語り部推薦：古内章夫（ふるうち あきお） ごまたまご社長 末崎出身

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 27 年 9 月活動報告
スタッフ・アンケート結果 13 名（回答者 13 名）

1. あなたの性別を教えてください。

男性	9 名
女性	4 名

2. あなたのメンバー区分を教えてください。

KK2 メンバー	2 名
Web 会員	11 名
一般	0 名

3. あなたの年代を教えてください。

20 歳未満	0 名
20～34 歳	3 名
35～49 歳	3 名
50～64 歳	6 名
65 歳～	1 名

4. KK2 プログラムへの参加回数を教えてください。

初めて	3 名
2 回～4 回	4 名
5 回以上	2 名
10 回以上	4 名

5. 今回の活動への参加動機・目的・趣旨は何ですか。また、それに対する達成度や満足度を教えてください。

とてもよかった	8 名
よかった	5 名
どちらでもない	0 名
あまりよくない	0 名
よくない	0 名

(自由記入) :

* 1 参加動機等

- 今年2月から参加し、少しずつ現地の皆様と親しくなった。自分のできることを通して、継続して皆様と関わり、少しでもお役に立ちたいと思い参加した。
- 地域外ボランティアが地域のコミュニティに受け入れられて行くプロセスを学ぶために参加した。また、多世代間コミュニケーションツールとしての「竹とんぼ」がコミュニティ再生に寄与してゆくプロセスを学ぶため。
- 被災地の方々にPC教育を通して何かお役に立ちたい。少しでも被災地の方々が元気になっていただければと思い、参加した。
- IT開発の経験を生かし、コミュニティや自治組織の構築・維持におけるITの役割について考える機会としたい。
- ①継続支援、②運営サポート・コーディネート、③留学生ケア
- ①地域の皆様との交流、課題共有、②参加者同士の親交、③志田豊繁さんのお話
- ①被災地の近況を体感する、②ITCの支援作業
- ①この活動に参加しKK2の取り組みを知りたかった、②IT支援プログラムに参加し、貢献したかった、③以前仕事で来たことがある大船渡の近況を知りたかった。
- ①日本のボランティア活動を体験、②被災地の復興支援、③日本社会の政策のつくり方を知る

* 2 達成度、満足度、感想等

- 技術的な質疑応答のみならず、担当させていただいた方が仕事で困っていることについて、一緒にああでもない、こうでもないと思ふも交えて話した。その間も共感と笑いが絶えず、楽しいひと時だった。こんなに親しく会話できるようになったのかと思うと、認めてもらえたようでうれしく、温かいものを感じた。2ヶ月に一度の訪問と、たまにSNSでやりとりするぐらいだが、長くおつきあひしつつ、いろいろ話せる関係づくりに繋がっていると思った。いろいろな見かたに触れることで、自分の経験値も増やせていると思う。本当にありがたく、達成感・満足度は高い。
- 導入期は誰かに話したい、誰かと話したいというコミュニケーションニーズにITボランティア側のスキル指導の場が対応した。現在、一旦その需要は終息したと思う。デジタル公民館の取組みは、ITスキルを習得してコミュニケーションツールとしての利活用に寄与するものであるものの、被災地の来場者特性を鑑みて柔軟に辛抱強く継続したことで、特定のコミュニティに受け入れられてきたのではないかと。
- 災害救援ボランティアは復旧前後の短期が活動期間であるのに対し、ITボランティアは復旧後期から復興前期、デジタル公民館のコミュニティ再生支援ボランティアは被災地の状態の変遷に適応して対応を変えて行く継続的・文化的な取組みで、被災地のみならず我が国の地方創生課題に共通する要件だと学ぶことができた。たいへん満足している。継続的に参加してきたことで、上記の期間評価、プロセス評価を行なうことができた。また、長期的には有効な手法であるにも係わらず、この経緯に関する理解がない新規参加者から見ると「視察」の域を出ない評価もあり得るのではないかと。当事者意識を持つ場合、単なる批判ではなく、積極的に討議に参加し、質問し、提案し、具体的な計画の策定と実行に関与する行動に昇華するため、参加者側の意識改革と成長が問われる場でもある。
- 地域の竹とんぼリーダ間のコミュニティは醸成されていると思う。竹とんぼが竹細工、とんぼデザインに発展して、被災地のシニアが工作を通じてコミュニティを形成している。どこ竹@武蔵野三鷹の意図は、リーダを養成して、このリーダが地域で竹とんぼ教室を企画・主催して、地域の孫・子世代と交流し、コミュニティを形成することにある。このステップに向けた東京サイドの支援が次の課題だと思う。今回は、缶ビールの空き缶(アルミ)とブリキを材料にしたバランス竹とんぼづくりだった。定刻に集うと同時に寡黙に工作に取り組んだ。竹とんぼや、竹細工、とんぼをモチーフにした工作等の作業が言語化している印象を受けた。竹とんぼリーダコミュニティが閉鎖的にならず開放され、リーダーのみならず地域の子供達にアクセスしてゆく姿が期待される。
- 被災地の方々よりいろいろなお話を聞き、皆さんの笑顔を見ることで、自分が逆に元気をいただいた。今回のよろず相談、陸前高田の一本松見学、地域の事業家のお話、避難訓練、朝市の見学、お寺の住職のお話、碓氷海岸での昼食等、すべて私にとって大切な経験となった。達成感・満足度は、100%。
- 新たなご縁と再会ができ、参加者全員と交流が図れた。志田豊繁さんの話は、町への想い、経営者視点、起承転結が明確なプレゼン、いずれも良かった。
- 留学生として来日している日本語が下手な私に皆さん優しく話してくださり、感謝している。
- 視察した範囲しかわからないが、かなり実感できた。切羽詰まった感じはないし、景色に不潔感もなく整然さが強く感じられた。松原の巨大ベルトコンベアも撤去準備に入った。生活は改善されていると思われるが、元の生活が復元できるはずはなく、新生活への期待と不安が交錯している感がある。コミュニティが復元できても、必ずしも元々がベストな状態ではなかった可能性もあり、今後が懸念される。近況を知るといふ点ではかなり満足できたが、新生活、異生活、新コミュニティの構築に関

する新たな関心が生まれている。

- ・ 今回の活動を通じて、いろいろな防災の知識を学べ、自分の実践能力もアップし、とても有意義だった。自分が思った以上に勉強になった。
- ・ プログラムがとてもわかりやすく準備されていた。震災数ヶ月後にたまたま通りかかった大船渡、陸前高田の今の様子を見ることができた。皆さんとともに活動し、良い成果を得ることができた。初めて参加した分、なおさら良かったのかもしれない。とても満足した2日間だった。IT支援では、自分のスキルで相談者に満足していただけて良かった。主にメール、インターネット、オフィスソフトだったので、ほぼ問題なかった。Wordの「……」の補充の仕方は勉強になった。ゆっくりお話を聞いたり、少しお話をお伝えすることができた。活動全般に、良い経験をさせていただいた。
- ・ 被災地ボランティアとして活動する機会がなかったが、この活動を通じて、現地の方々と密に接することができ、当時の被災の状況や、それに対して、いろいろな方々が、当時どのように行動し、それがどのように良かったのか、改善すべきだったのかを、直接見聞きすることができて素晴らしいと感じた。
- ・ 相談会において、参加者からの要望にこたえるとともに、参加者からの声を直接聞くことができ、自身の目標を達成できた。
- ・ 活動の内容を見直す時期になっていることを他のメンバーとも共有できて満足。事務局のサポートという面では、本来のスケジュールをなるべく崩さないように、参加者からの現場での希望を調整するサポートができたと思う。留学生のケアの面でもトラブルなく終了できてよかった。
- ・ 2日間、けが、病気、トラブルなどなく、無事終了したのでまずまず。ボランティアの入浴で2012年からお世話になっていた海楽荘のオーナー志田豊繁さんを語り部としたまちおもいトークは、経営者のコンピテンシーを伺わせるサクセスストーリーを聞きたいへんよかった。木屑を焚く温水ボイラーの導入や壁面を飾る野口真里さんのガラスアートなど興味深い。地域の方も知っているようで知らなかった本当のところをきけたのでは。また、初めて留学生（千葉大学大学院の研究生）2名（女性）の参加受入れや内田地域自主防災組織の津波避難訓練への参加など新しい試みもあって繋がりが広がった。

6. パソコン・ネットよろず相談やパソコン・ネット学習について、いかがでしたか？

とてもよかった	6名
よかった	7名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名

* 1 具体的なよろず相談の内容と、対応方、成果、気のついたこと、感想など

- ・ 利用者の方々のニーズが明確だった
- ・ 新規の方が来てくださって良かった！
- ・ 「館報まっさき」の活動案内でエクセルが学べるというのを知って初めて参加したという方がいた。何人かの方がノートにメモを取りながら取り組んでいて、自分たちの活動への期待の高さを感じた。
- ・ 写真の保存方法を教えたが、何回か練習し、ようやくできるようになった。わかりやすい方法を教える必要があると思った。皆さん、意欲的で感動した。

7. 「まっさきに学ぶ！第3回まちおもいトークについてについていかがでしたか？

とてもよかった	10名
よかった	3名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名

* 1 お話の内容について、ご意見・ご感想・改善点などをご記入下さ

- ・ 生きてると、過去の辛かったことの印象が良いことの印象より勝ってしまい、自分が不幸なのではないかと感じることもあると思う。話を聞いて、よいことと悪いことが波のように交互に訪れているという部分で、冷静に自分の人生を見つめなおすきっかけになった。いつ首都圏で大きな自然災害が起こるとも知れない。自分はすべてを失ったとき、何を心のよりどころにして強く生きられるだろうか、家族を守れているだろうか、いろいろなことを考えさせられた。
- ・ 大きな建物を建てた理由を聞き、噂話とは違うことがわかった。入浴施設の登録の関係で、できることとできないことがあり、そのために日帰りの利用客向け飲食や休憩室の設備ができないという事情を聞かせていただけて、勉強になった。
- ・ 「事業とは何か」から入り、話が上手な方だと感じた。また、新事業をするまでに様々なご苦労をされ、新たなチャンスを自ら掴む生き方に感銘した。
- ・ 建設費用 13 億円(WEB 情報)、三菱財団から 7 千万円の出資金など、大きな金額が動いた大船渡温泉の建設から運営・経営を一事業者がどのように行っているのか興味があったが、そのお話が聞けて良かった。また、プレゼン手法としても、起承転結が明解、投げかけ質問多用、等、教科書に出てくるような手法を実践しており、そのスキルに感銘した。
- ・ とっつきにくい感じはするかもしれないが、思っていることをちゃんと話してくれる人だと聞いていたが期待通りでした。謎解きや物語に富んだ話の内容、構成。やわらかい語り口など、とても良かった。地元の人に発言してもらうなどして、もう少し深めたい気持ちが残る終わり方だったが、まずまずでしょうか。改めて地元の方からは感想・意見を聞いてみたい。
- ・ 13 億円も融資を受けて、大船渡温泉を開業するとは、パワーのある人だと思った。
- ・ 講師の率直なお話を聞かせていただいた。地元には詳しくないので、状況を想像しながら聞いたが、ホテルの写真もあってよくわかった。ストーリーとしても、とてもわかりやすく話していただいた。ご苦労の様子が伝わってきた。私たちよりも、ふだんから知っている地元の皆さんに話をするのに、だいぶ気を使われたのだろうと思った。今後も成功していけるイメージが想像できた。講師のご活躍を祈っている。
- ・ 志田オーナーが、異端児のような感じで紹介されていたが、ある意味、異端児じゃなければ、実行力に欠け、夢や目標を実現できないのではないかと考えさせられた。なぜなぞは難しかったが、なるほど！と思い知らされる解答ばかりだった。世界で 1000 年以上続く老舗など、日常から、旅館にかける想いが強いんだと感じた。莫大な融資を受けて旅館を経営するのは、普通のサラリーマンには無理で、やはり、そういう生き立ちの方だからこそ上手く成功しているのではないかと感じた。
- ・ 大船渡温泉のオーナーが中学校の卒業の時にホテル経営者になりたいという夢を持ち、その後の 20 年の中で、いろいろな挫折を経験し、ようやく夢をかなえた。彼の奮闘の精神に感動した。
- ・ 地元経営者として大事な視点である、地域に貢献するということがとても伝わる内容だった。例えば地元住民に日帰り温泉で憩いの場を提供する一方で、宿泊により持続的に収益を得るといった仕組みが重要であることがわかった。

8. 26日行きがけの視察（①奇跡の一本松、もしくはタビック45の遺構）について、いかがでしたか？

とてもよかった	8名
よかった	4名
どちらでもない	1名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	0名

* 1 ご意見・ご感想・改善点などをご記入下さい

- ・ 息子が3月にスタディーツアーバスで岩手県内の何箇所かを訪れた。その時に奇跡の一本松を訪れなかったそうで、私が写真を見せたら、非常に興味を持ち、熱心に話を聞いてくれた。実際に訪れてみて初めて感じ取り、学ぶことも多いが、まずは、母親の体験談から若い感性で何かを感じてくれたらと思った。
- ・ タビック45の遺構について、非常に有意義だった。被災前の町の様子が動画で示され、ここに確かにあったコミュニティを臨場感をもって確認することができた。多くのボランティア・観光客は被災前の街の様子を知らず、真の災害の甚大さは理解できないが、ここで生活していた人々の息遣いを知ることは復興を継続的に支援してゆく動機付け価値として非常に有意義であったと思う。
- ・ 何万本という松が津波によって1本しか残っておらず、また建物も破壊されている状況を実際に見て、当時の津波の破壊力、恐ろしさを痛感した。
- ・ 巨大ベルトコンベアとの併存はもう見納め。整備されたとき、松原はどのように再現されるのか、あるいは写真などで示されるのか。
- ・ 一本松、思ったより太かった。写真で見た長男もそう言っていた。これだけで行った価値があった。行程に無理がかからない範囲だったと思うので、連れて行っていただいて良かったです。一度だけ、2012年に越前高田を通りかかったときは、県道沿いに一本松を眺め、次に流された上流の鉄橋を見たのが印象に残っている。
- ・ BRTの中から見ると、工場のようなベルトコンベヤーの向こうに一本松があるのが、被災地であることを物語っているように思えた。
- ・ タビック45の遺構に行った。震災の写真を見て驚いた。人類がどうすれば自然とスムーズに融合できるかをもっと重視するべきだと思う。

9. 27日早朝の視察研修 内田地区大津波避難訓練、長源寺、細浦復興朝市参加について、いかがでしたか？

とてもよかった	10名
よかった	3名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
不参加・未回答	0名

* 1 ご意見・ご感想・改善点など ご記入下さい：

- ・ 竹と毛布でタンカを作ったことは勉強になった。首都圏では竹がすぐに入手できないと思うが、物理的な原理は学べたので、なんらか有りもので同じようなタンカが作れるかもしれない。
- ・ 被災した地域にしては参加者が少ないと感じたが、参加していたお母さん方から、①内田地区は震災前は40世帯以上あったが今は16世帯しか残っていない、部屋に残っているお年寄を除いて大半が参加、②隣の細浦地区は若者はほとんどいないが、内田地区は青年団がテント設営やタンカ搬送などをしてくれるので心強い、というお話をうかがえて現状への理解、認識を深めることができた。このような情報はその場でメンバーと共有したかったが、訓練中でできなかった。その後の朝市の時間は空き時間が多かったため、そこで5分でも10分でも集まって、内田地区の訓練参加者の方からお話を聴ける時間が作れたらよかった。
- ・ テント張りなどにささやかながら参加でき、また、長源寺の住職から、当時のことやその後のことを聞いた。よかった。
- ・ 年齢のせいでは朝早いのは問題ないので、楽しく参加できた。テントは学校行事で作ったことがあるので、むしろ機材が新しく設営しやすかった。住職のお話を伺えたことで、いろいろなことが聞けて良かった。
- ・ テント張りは初めてだったので、普段訓練していないと、すぐに組み立てできないことが良く分かった。避難訓練は、日中に行うものだと思っていたが、早朝から実施して、万が一のことを想定して、実践的な訓練で、将来再来するであろう災害に備えるためには、有効だと思った。住職の話を聞くことができ、実際に被災したときの苦労や、行政が杓子定規な対応しかできず、現場が混乱していたことなど良くわかった。
- ・ 避難訓練の担架経験がとても役立った。津波が発生するときだけでなく、普段の緊急事態の時にも対応できる。朝市が復興の一環として、開かれているが、他のところの朝市と重なって、業者も客もそんなに多くなかった。今後、朝市は個々の特色をもっと重視すべきだと思う。

10. 27 日午後の視察研修について、いかがでしたか？

とてもよかった	9名
よかった	3名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
不参加・未回答	1名

* 1 ご意見・ご感想・改善点など ご記入下さい：

- ・ 話を聞きながら実際の現場で実物を見ることは大きな学びだと思った。災害規模の大きさを改めて実感する機会でもあった。次の災害に備えなくてはという気持ちにさせられた。コスモスが美しかった。
- ・ 浸水被害と非浸水被害の境界が物理的にリアルに確認でき有意義だった。
- ・ 浸水地域や復興計画が書かれた地図を現場で広げて、ご説明いただきました。足元が沈むほどやわらかい土の上で伺ったお話は、体感がプラスされて学びが深まった。
- ・ 館長さんの解説を聴き、被災当時の様子と被災地の今後の計画についてよくわかり、勉強になった。被災地の皆さんは自分の力ですごく頑張っていることがわかり、感動した。
- ・ 現場に立って、図面をもとに被災前の様子や被災時のこと、これからの計画などをご説明いただき、感無量だった。新沼館長ありがとうございました。
- ・ 小河原地区の今後の復興方針を聞いて、よかった。
- ・ 末崎町の復興の問題点をひとつひとつ丁寧に説明いただき、初めてでもよくわかった。
- ・ 小河原地区の被災地では、一面何も無い原っぱが広がっているが、地図を見ると、相当数の家があったことがわかり、津波の被害がまざまざとうかがえた。新沼館長の話も地図を使いながらわかりやすく、地方から移住してきた方々がなぜ沢山被災したかなど、良くわかった。
- ・ 当地の漁業の販売状況を見た。もっとインターネットで宣伝したり、あるいは、インターネットでお店を開いたりすれば、もっと繁盛すると思う。

11. 「デジタル公民館まっさき」活動に、また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	11名
参加したい	1名
どちらとも言えない	1名
参加したくない	名
まったく参加したくない	名

* 1 備考・自由記入

(感想)

- ・ 残り2回なので、これまで参加したことのない方に、もっと参加してもらえると良いと思う
- ・ 地域の皆さまから本音の話を聴き本音で会話するには、回を重ねたコミュニケーションによって信頼関係を築くことが大切と、何回も参加している方をみて感じており、継続して参加したいと思う。
- ・ 今後も、末崎の方々と交流し、復興状況を確認しながら支援していきたい。
- ・ まちおもいトークでは、毎回、地域の有志（文字通り、志のある方々）による地域への想い、自分の志・目標、見習わなければいけないことを聞くことができ、自分自身、普段以上に頑張らなければいけない

12. 活動全般、移動、生活、運営面も含め、ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

① 全般

(感想)

- ・ 東京から2日間で往復する行程を丁寧に組んでいただいた。スケジュールもわかりやすく、初めてでも戸惑わずについて行けた。移動、食事、宿泊、すべて吟味していただき、じゅうぶんだった。よろず相談もあいまいな想像だけで、来る前はお役に立てるかどうかわからなかったが、ほぼ良かったのだと思う。もっと何かして差し上げられることがあるのかもしれないが、すぐには思いつかない。KK2でこういった場を作っていただき、私たちと末崎の方が接触できることが素晴らしいこと。最初からそんな気はしていたが、他の視察も含めて、むしろ私たちが勉強させていただくことのほうが多かった。差し入れのお酒、美味しくいただいた。ホテルの朝食、ほかの地域と比べて美味しかった。美味しさの敷居が高い地域だと思う。まちおもいトーク、それまでは大船渡と陸前高田のくくりしか意識しなかったが、末崎からみた大船渡感、あそこにホテルを建てる心意気を言葉に出さずに語っていた。天候にも恵まれ、良い風景にたくさん触れた。スタッフの皆さま、末崎の皆さま、同行の皆さまにたいへんお世話になった。ありがとうございました。
- ・ 今回の行動予定のタイムスケジュールは見やすく良かった。

以上